株式会社ニチレイ 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
☎(03)3248−2113(グループコミュニケーション部 IRグループ 株式担当)

配当金のお支払いについてのご案内

第102期中間配当金は、次のいずれかの方法により、2019年12月5日(木)からお支払い申し上げます。

■口座振込にてお受け取りの株主様

「配当金計算書」および「お振込先について」を同封していますので、ご確認ください。

■株式数比例配分方式をご指定の株主様

「配当金計算書」および「配当金のお受け取り方法について」を同封しています。また、源泉徴収税額計算は証券会社等にて行われますので、確定申告の添付書類は、お取引の証券会社等へご確認ください。

■配当金領収証によりお受け取りの株主様

同封の「第102期中間配当金領収証」記載のお支払い方法をご高覧の上、最寄りのゆうちょ銀行本支店・出張所および郵便局(銀行代理業者)にて、払渡しの期間内(2019年12月5日(木)〜2020年1月31日(金))にお受け取りください。なお、同封の「配当金計算書」は、配当金をお受け取り後の配当金額のご確認や確定申告の添付資料としてご使用いただけます。

■次回より口座振込をご希望の場合

証券会社等に口座をお持ちの株主様はお取引の証券会社等にて、特別口座の株主様はみずほ信託銀行にて、それぞれお手続きください。

株式事務に関するご案内

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120−288−324 受付時間:9:00〜17:00(土・日・祝日を除く)
各種手続お取り扱い(住所変更、配当金受け取り方法の変更、単元未満株式の買取・買増等)		●みずほ証券 本店および全国各支店 (プラネットブースでもお取り扱いいたします) ●みずほ信託銀行 本店および全国各支店 ※トラストラウンジではお取り扱いできませんので、ご了承ください。
未払配当金のお支払い	みずほ信託銀行およびみずほ銀行 本店および全国各支店 (みずほ証券では、取次のみとなります)	
支払明細の発行	みずほ信託銀行 証券代行部(フリーダイヤル 0120−288−324)にご相談ください。	

単元未満株式をお持ちの株主様へのご案内

■単元未満株式は市場で売買できません。買取・買増については、お取引の証券会社等にご相談ください。

■特別口座にある株式の買取・買増については、みずほ信託銀行にご相談ください。
(特別口座では単元株の売買ができないため、売買をご希望の方は、証券会社等に口座を開設し株式を振り替えていただく必要があります)

UD FONT 見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。
VEGETABLE OIL INK
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080 www.fsc.org
PRO-WE PROJECT-With the Earth この冊子の印刷・製本に係るCO₂はPROJECT-With the Earth を通じてオフセット(相殺)しています。

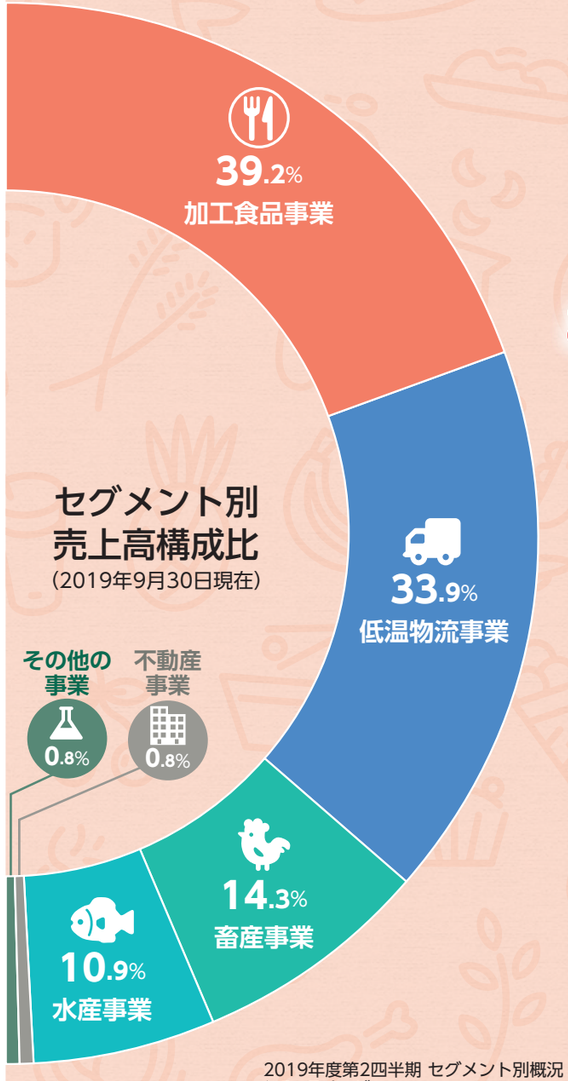
HOPPE ほっぺ

Vol.43

ニチレイ

第102期中間 グループ報告書
2019年4月1日 〜 2019年9月30日

株式会社ニチレイ 証券コード:2871



セグメント別
売上高構成比
（2019年9月30日現在）

2019年度第2四半期 セグメント別概況
▶5～7ページ

おいしい瞬間を届けたい

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する

ビジョン【目指す姿】

私たちは地球の恵みを活かしたものづくりと、
卓越した物流サービスを通じて、
豊かな食生活と健康を支えつづけます。

2019年4月改訂

株主の皆様へ

経営環境の変化を的確に捉え、持続的成長へ

第102期中間グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に厚くお礼申し上げます。

上半期は大型台風や豪雨、地震など自然災害が立て続けに発生しました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

さて、わが国の経済は、輸出を中心に弱さが見られるものの、企業業績や雇用所得環境が改善するなど、緩やかな回復基調が続きました。一方、海外における米中貿易摩擦や英国のEU離脱交渉の動向に加え、消費増税後の国内消費の落ち込みへの懸念から景気の先行きは不透明な状況になってきています。

食品業界では、ライフスタイルの変化により「食の外部化」が進展し、中食市場が拡大する一方、人件費や物流費の高騰、原材料価格の上昇などコストアップ要因が顕在化してきました。また、食品物流業界においては、労働力不足が深刻化するなか、省人化のための技術開発や機器導入へ向けた取り組みが加速しました。

このような状況のなか、当社グループは、主力事業を中心に将来の利益成長および基盤強化への投資を推進し、「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向けた施策に取り組みました。

この結果、グループ全体の売上高は、主力の加工食品事業や低温物流事業が堅調に推移し増収となりました。利益面でもその他の事業のうちバイオサイエンス事業が苦戦しましたが、調理冷凍食品の販売が好調に推移した加工食品事業がけん引し、増益となりました。

中期経営計画「WeWill 2021」（2019年度～2021年度）がスタートし、「持続的な利益成長」と「豊かな食生活と健康を支える新たな価値の創造」の実現に向け、引き続き経営基盤の強化とイノベーションの推進による経済的価値の向上と社会的価値の創出に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

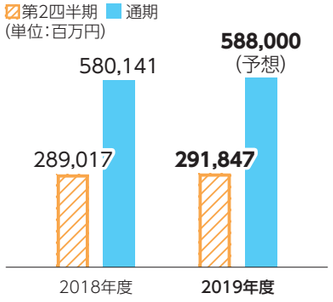
2019年12月吉日

代表取締役会長　大石邦夫
代表取締役社長　大櫛顕也

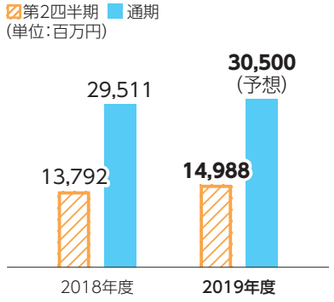
第2四半期 連結財務ハイライト

売上高	主力の加工食品事業や低温物流事業が堅調に推移し、2,918億47百万円(前年同期比1.0%の増収)となりました。
営業利益・経常利益	その他の事業のうちバイオサイエンス事業が苦戦しましたが、調理冷凍食品の販売が好調に推移した加工食品事業がけん引し、営業利益は149億88百万円(前年同期比8.7%の増益)となり、経常利益は153億90百万円(前年同期比9.6%の増益)となりました。
親会社株主に帰属する四半期純利益	特別利益は61百万円となる一方、特別損失は、固定資産除却損など総額は8億91百万円となりました。以上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は95億2百万円(前年同期比0.9%の増益)となりました。

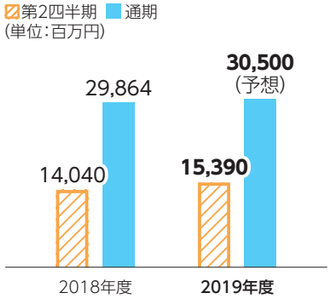
売上高
291,847百万円



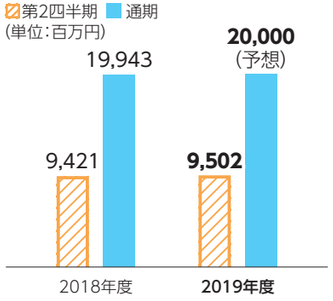
営業利益
14,988百万円



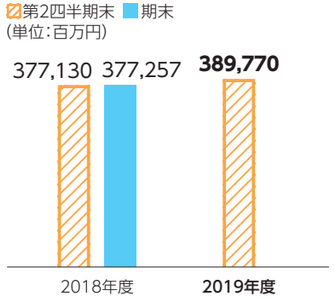
経常利益
15,390百万円



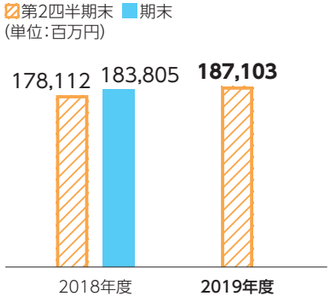
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益
9,502百万円



総資産
389,770百万円



純資産
187,103百万円



第2四半期 連結財務諸表

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

2019年9月30日現在

(単位:百万円)

区　分	金　額
流動資産	173,414
固定資産	216,355
資産合計	389,770
流動負債	120,099
固定負債	82,567
負債合計	202,667
株主資本	168,118
その他の包括利益累計額	12,188
非支配株主持分	6,796
純資産合計	187,103
負債純資産合計	389,770
設備投資等の金額※	10,587
有利子負債 (リース債務除く)	106,073 (89,684)
1株当たり純資産額	1,353円37銭

※設備投資等の金額は、有形固定資産および無形固定資産に係る投資額の合計金額です。

連結損益計算書(要旨)

2019年4月1日から2019年9月30日まで

(単位:百万円)

区　分	金　額
売上高	291,847
営業利益	14,988
経常利益	15,390
税金等調整前四半期純利益	14,561
四半期純利益	10,016
親会社株主に帰属する四半期純利益	9,502
減価償却費	8,998
研究開発費	1,255
1株当たり四半期純利益	71円30銭

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2019年4月1日から2019年9月30日まで

(単位:百万円)

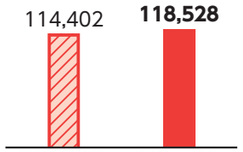
区　分	金　額
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,041
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,445
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,042

第2四半期 セグメント別概況

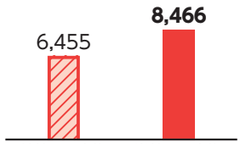
加工食品事業

チキン加工品や米飯類などの主力カテゴリーを中心とした商品開発や販売活動に注力するとともに、継続的な生産性改善に取り組みました。この結果、家庭用・業務用ともに調理冷凍食品の販売が拡大したことに加え、海外子会社の業績も改善し、増収・増益となりました。

売上高
118,528百万円



営業利益
8,466百万円



ニチレイフーズ

第23回業務用加工食品ヒット賞受賞！「ボイルでサクッとシリーズ」

今春発売の「ボイルでサクッとシリーズ」が株式会社日本食糧新聞社主催、第23回業務用加工食品ヒット賞を受賞しました。

当シリーズは、深刻化する厨房の人手不足や調理設備が充実していない施設の課題を解決する商品として発売しました。独自製法である「衣革命®」の特殊技術で揚げ物の衣にバリアー層を作り、中種からの水分移行をシャットアウト。通常、油で揚げる必要のある冷凍コロッケを、包装袋のままお鍋でボイル調理ができる画期的な商品で、揚げたての衣のサクサク感を味わうことができます。

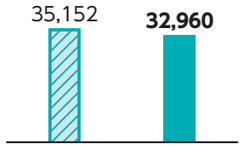
ラインアップは、「ボイルでサクッとコロッケ(牛肉入り)」と「ボイルでサクッとクリームコロッケ(かに入り)」の2品。

「油で揚げる」という手間のかかる調理を削減したい高齢者施設を中心にご活用いただいております。

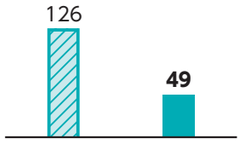
水産事業

中食・外食向けの最適な加工度での商品提供や、海外販売の拡大に取り組んだものの、「えび」を中心に採算性重視の販売に注力したことや、「たこ」の国内市況が悪化したことなどにより、減収・減益となりました。

売上高
32,960百万円



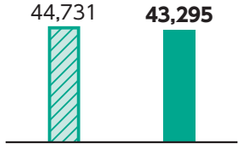
営業利益
49百万円



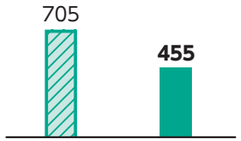
畜産事業

外食向けや、「健康価値食肉(「亜麻仁の恵み®」シリーズ)」の販売が伸長したものの、輸入豚肉の慎重な買付や、国産鶏肉相場が軟調に推移した影響により、減収・減益となりました。

売上高
43,295百万円



営業利益
455百万円



ニチレイフレッシュ

水産品の持続可能な調達

㈱ニチレイフレッシュは、水産資源の持続可能性に配慮した調達を目指し、MSC認証やASC認証を取得している漁業者、養殖者と共に認証付き水産品の開発に取り組んでいます。

MSC認証は天然の水産品を対象とし、ASC認証は養殖水産品を対象とした国際認証制度です。

おいしく、安全、安心、そして環境に配慮した商品をお届けするために、これからも認証付き商品の開発に取り組み、ラインアップを増やしてまいります。

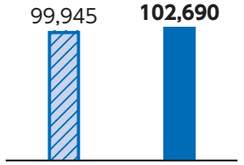
※ニチレイフレッシュが取扱う認証付き水産品
ASC認証：ブラックタイガー、バナメイえび
MSC認証：サケ類、スケソウダラ、マダラ、カレイ類、ホタテ貝、ニシン、カラフトシシャモ、ズワイガニ、カナダホッキ貝

第2四半期 セグメント別概況

低温物流事業

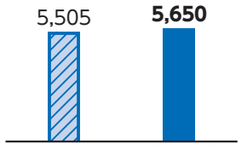
物流ネットワーク事業の売上げが順調に推移したことで、海外事業の為替換算影響を吸収し増収となりました。営業利益はコスト上昇要因が重なるなか、保管事業において在庫が高水準で推移したことや、業務効率化に努めたことで増益となりました。

売上高
102,690百万円



(単位:百万円)

営業利益
5,650百万円



(単位:百万円)

ニチレイロジグループ

㈱ロジスティクス・ネットワーク　『物流環境保全活動賞』受賞

㈱ロジスティクス・ネットワークは、一般社団法人日本物流団体連合会が主催する「第20回物流環境大賞」において『物流環境保全活動賞』を受賞しました。

物流環境大賞とは、物流部門における環境保全の推進や環境意識の向上等を図り、物流の健全な発展に貢献された団体・企業または個人を表彰するもので、今回受賞した『物流環境保全活動賞』は、幹線輸送における各種モーダルシフト*の取り組みについて評価されたものです。

ニチレイロジグループは、2003年からJRコンテナを使ったモーダルシフトを開始し、様々な視点や工夫により輸送範囲や物量を拡大しております。今後も新規経路の開拓などを進めることで、更なるモーダルシフトの拡充を図ってまいります。

＊モーダルシフトとは
トラック等の自動車で行われている貨物輸送を環境負荷の小さい鉄道や船舶の利用へと転換すること

連結業績予想

当社グループ全体の予想

(単位:百万円)

		通期		
		予想	対前期比較	
			増減額	増減率(%)
売上高	加工食品	235,000	8,411	3.7
	水産	68,000	△3,245	△4.6
	畜産	91,200	123	0.1
	低温物流	204,600	3,550	1.8
	不動産	4,700	△94	△2.0
	その他	6,000	209	3.6
	調整額	△21,500	△1,097	−
	合計	588,000	7,858	1.4
営業利益	加工食品	16,200	1,603	11.0
	水産	400	217	119.3
	畜産	1,100	△352	△24.2
	低温物流	11,800	401	3.5
	不動産	2,000	△96	△4.6
	その他	△300	△638	−
	調整額	△700	△146	−
	合計	30,500	988	3.4
経常利益		30,500	635	2.1
親会社株主に帰属する当期純利益		20,000	56	0.3

※年間の為替レートは、1米ドル110円、1ユーロ130円、1バーツ3.4円を想定しております。
※当第２四半期までの実績を踏まえ、2019年５月14日付の「2019年3月期 決算短信」で公表しました2020年3月期の連結業績予想を上記のとおり修正しております。

セグメント別の予想

加工食品事業

■家庭用調理品において引き続き主力のチキン加工品や米飯類などの販売に注力することや、業務用調理品では中食ルート向けにチキン加工品などの主力商品の拡販に努めることなどにより、増収を見込んでおります。
営業利益は、原材料等のコスト上昇が見込まれるものの、増収効果や海外子会社の業績改善などにより増益を見込んでおります。

水産・畜産事業

■水産事業は、需要が高まる第３四半期での主力商材の販売徹底や加工品の取り扱い拡大により、利益確保に努めます。

■畜産事業は、中食・外食向け中心に加工品の拡販に努めるものの、国産鶏肉と輸入豚肉の相場変動の影響をカバーすることができず減益となる見込みです。

低温物流事業

■TC(通過型センター)事業の伸長や保管貨物の集荷拡大などにより増収を見込んでおります。
営業利益は、電力料、荷役作業および輸配送のコストの上昇を、増収効果や業務効率化の推進などにより吸収することで、増益を見込んでおります。

Delightful Gourmet Private Limitedの概要

- **本社**：カルナータカ州バンガロール
- **設立**：2015年7月
- **共同代表者**：Abhay Hanjura、Vivek Gupta
- **事業内容**：インドにおける食肉および魚介類の加工・流通・宅配オンライン・マーケットプレイス「Licious」の運営(https://www.licious.in/)

TOPICS

大市場インドにおける新たな食肉流通の拡大に挑戦!

ニチレイグループでは、中長期的な成長戦略の一つとして海外事業の規模拡大を進めています。そのうちの一つとして、2018年12月には、インドでEC(電子商取引)を使った食肉の流通・宅配サービス事業"Licious(リシャス)"を運営するスタートアップ企業Delightful Gourmet Private Limited(ディライトフルグルメ社)に、1,500万ドルを出資しました。インドの現状と今後の展開について担当者に聞きました。

今回の担当者
㈱ニチレイ
経営企画部　事業開発グループ
アシスタントリーダー　丸山洋平

インドという市場の特徴、その魅力とは?

インドの人口は2030年までには世界一になるといわれています。GDPの成長率も高い水準をキープし、「いずれ世界一の食の大市場になる」と予測しています。インドはベジタリアンが多い国と思われがちですが、実は肉食の人たちが7割程度を占め、世界有数の食肉生産・需要国なのです。

また、スマートフォンの普及スピードが非常に速いのも特徴です。そのためECの普及も進んでおり、購買履歴などの顧客データを活用するデジタルマーケティングの手法など学ぶ部分も多々あります。

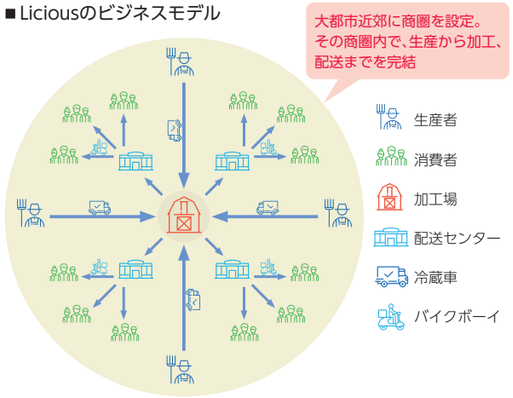
一方で、インドは、道路やコールドチェーン*などの基本的なインフラが十分でないため、安全で高品質な肉を入手しづらいという課題も抱えています。

"Licious(リシャス)"のビジネスモデルとは?

インドで、安全で高品質な肉を消費者に届けるために考えられたシステムです。インドでは一般に、冷凍した肉や魚は敬遠される傾向があるため、生での流通が主。チルドでの流通を含め、鮮度を保って消費者に届けるためには、生産者から消費者までの距離と時間をいかに短くして効率よくつなぐかがカギとなります。

"Licious(リシャス)"は、インドの大都市近郊に商圏を設定して、その中に契約農家と加工施設、配送センターなどを配置。顧客の購買履歴などのデータをもとに、高い精度で購買行動を予測することで、生産から加工、物流までを最適状態でつなげています。

■Liciousのビジネスモデル



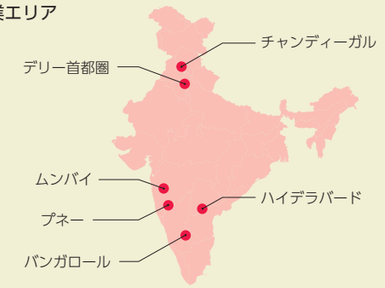
"Licious(リシャス)"への出資の狙いと今後について

もっとも大きいのは、今までニチレイが未進出だったインドという大市場への足がかりとすることと、デジタルデータを駆使したサプライチェーンの構築という、ニチレイにはないビジネスモデルを学びたいということです。

顧客データを生産計画や商品開発に活用したり、サプライチェーンの川上から川下までデータを共有して最適化するなど、ITがイノベーションの大きなカギとなります。

ニチレイの強みである衛生管理の技術や肉の加工技術、コールドチェーンのノウハウなどを合わせて活用することで、"Licious(リシャス)"の事業拡大に貢献しつつ、インド市場への理解を深め、インドでの新たなビジネスの可能性も探っていきたいと考えています。

■事業エリア



2018年12月時点では、商圏は3つでしたが、その後3つ増やして、2019年4月時点で上記の6カ所となっています。商圏を新設するときにも、候補地でのデジタルマーケティングを駆使してデータ収集と分析を行い、潜在顧客や商材の予測を高い精度で行って決定しています。

コールドチェーン*
生産地から消費者まで所定の温度(冷蔵・冷凍)に保ったまま流通させるしくみ

NEWS ニチレイフーズ

2019年秋季 新発売!

家庭用冷凍食品から
注目商品3品をご紹介します。

ビーフクリームコロッケ

濃厚なクリームに、ビーフの旨味がしっかり感じられるコロッケです。1個45gと食べ応えのあるサイズで、食卓にもう1品プラスしたいときに便利です。

ささみソースカツ

ヘルシー感のあるささみカツに、8種類の香辛料が香る特製まろやかソースをかけました。食べやすい大きさで、ごはんのおかずにもお酒のおつまみにもぴったりです。

牛すき焼めし

人気メニューの「すき焼」をアレンジした焼めしです。2種類の醤油と砂糖で甘辛く、コク深く仕上げました。

ニチレイフレッシュ

スピードスケート ナショナルチームに牛肉「亜麻仁の恵み®」を提供

ニチレイグループは、事業の柱である「食」とともに、人々の健康を支える「スポーツ」を支援しており、2006年からは公益財団法人日本スケート連盟のオフィシャルパートナーを務めています。

2019年7月に北海道網走市で行われたスピードスケート ナショナルチームのトレーニングでは、㈱ニチレイフレッシュの畜産品「亜麻仁の恵み®」シリーズの牛肉を提供し、選手の皆様に大変ご好評をいただきました。

ニチレイフレッシュは、商品の提供を通じて、これからも日本スケート連盟を応援していきます。

「亜麻仁の恵み®」シリーズとは

人の健康維持に欠かせないオメガ3系脂肪酸(α-リノレン酸)を豊富に含む素材“亜麻仁”を飼料用に加工し、鶏、豚、牛に与えて飼育した畜産品です。

ニチレイロジグループ

台風等災害発生予測時の対応について

近年、台風や集中豪雨など自然災害が多発しており、各地で甚大な被害が発生しています。

ニチレイロジグループでは、日頃から台風等災害対策は講じておりますが、相当な被害が予想される場合は、従業員および関係者の方々の安全確保と取扱貨物の保全を最優先とするため、物流業務の臨時休業や営業時間の変更を行っています。

これらの対応は、大規模災害に備えたBCP(Business Continuity Plan/事業継続計画)にもとづくリスクマネジメントの取り組みの一環であり、社会にとって不可欠な最重要インフラである食品物流を担う企業として、これからも持続可能な物流サービスを提供してまいります。

会社概要 (2019年9月30日現在)

社　名	株式会社ニチレイ
所在地	〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号 ニチレイ東銀座ビル
設　立	1942年12月※
役　員	代表取締役会長　大谷邦夫
	代表取締役社長　大櫛顕也
	取締役執行役員　田口巧
	取締役執行役員　金子義史
	取締役執行役員　川﨑順司
	取締役執行役員　梅澤一彦
	取締役執行役員　竹永雅彦
	社外取締役　鵜澤静
	社外取締役　鰐渕美恵子
	社外取締役　昌子久仁子
	常勤監査役　滋野泰也
	常勤監査役　安田一彦
	社外監査役　岡島正明
	社外監査役　長野和郎
	社外監査役　齊藤雄彦
	執行役員　宇田川辰雄
	執行役員　三木一德
	執行役員　武永正人
	執行役員　狩野豊
会計監査人	EY新日本有限責任監査法人 東京都千代田区有楽町一丁目1番2号 東京ミッドタウン日比谷 日比谷三井タワー

※前身の帝国水産統制株式会社の設立年月
1945年12月 日本冷蔵株式会社に改組

株式の状況 (2019年9月30日現在)

発行可能株式総数 …… 360,000,000株

発行済株式総数 …… 139,965,587株
(うち自己株式 6,737,567株)

単元株式数 …… 100株

株主数 …… 18,781名

■大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	20,252	15.2%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	12,718	9.5%
日本生命保険相互会社	5,744	4.3%
株式会社みずほ銀行	3,813	2.9%
株式会社三菱UFJ銀行	3,406	2.6%
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	2,799	2.1%
株式会社日清製粉グループ本社	2,719	2.0%
農林中央金庫	2,675	2.0%
第一生命保険株式会社	2,323	1.7%
資産管理サービス信託銀行株式会社（証券投資信託口）	2,076	1.6%

(注)1.持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
2.持株比率は、自己株式(6,737千株)を控除して計算しています。
小数点第2位で四捨五入して表示しています。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌3月31日まで
定時株主総会	6月
株主確定日	定時株主総会・期末配当金　3月31日 中間配当金　9月30日
上場証券取引所	東京(第一部)
証券コード	2871
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号　みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告により行います。公告掲載場所は当社ホームページhttps://www.nichirei.co.jp/とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載します。

上場株式等の配当等に係る税金についてのご案内

2013年12月31日をもって上場株式等の配当等に係る軽減税率が廃止されており、今回の第102期中間配当金の税率は本則税率となります。また、2037年12月31日までは、復興特別所得税として基準所得税額に対して2.1%を乗じた金額が課税されます。具体的な税率は下表をご参照ください。

■上場株式等の配当等に係る税金と税率

	2037年12月まで	2038年1月以降
所得税	15.315%	15%
復興特別所得税		–
住民税	5%	5%
合計	20.315%	20%

※上記税率は源泉徴収が行われる場合の税率です。なお、内国法人の場合は住民税が徴収されません。
※発行済株式の総数等の3%以上に相当する数または金額の株式等を有する個人の大口株主様につきましては、別の税率となりますのでご注意ください。
※詳細につきましては、所轄の税務署にお問合せください。

株主・投資家、個人投資家向け情報サイト

最新IRニュース、最新の決算発表情報をご覧いただくことができます。また、個人投資家向け情報サイトでは、個人投資家説明会時の決算資料をはじめ、ニチレイグループのことをわかりやすく紹介しています。

●ニチレイメーリングサービス
ニチレイWebサイトの更新情報や新商品の情報を、電子メールでも受け取ることが可能です。登録は無料ですので、どうぞご利用ください。

https://www.nichirei.co.jp/ir/

個人投資家向け情報サイトへは、こちらからアクセス可能です。